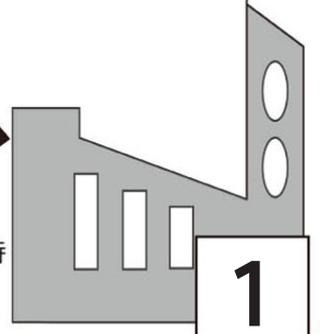


カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



[ミサ時間] 主日ミサ:(土)19時 / (日) 7時・9時30分 / 英語ミサ(日)16時

[ホームページ] <http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

ご案内

- 1月1日(水): 神の母 聖マリア 世界平和の日 10:00
- 1月12日(日): 成人式のお祝い
- 1月19日(日): キリスト教一致祈禱会 16:00
- ・テーマ: 人々は大変親切にしてくれた(使徒言行録 28:2)
- 1月26日(日): 世界こども助け合いの日(献金)
- ・聖書講座: ヨハネ福音書を読む 森山信三神父 14:00



2月2日(日) 堅信式

・主のご降誕の喜びがすべての人々にゆきわたりますように

・2020年、世界中の人々が神の愛を感謝できますように

・私たちは、それぞれが置かれている場で、日常の雑務を通して、愛をもつて生き、自分に固有のあかしを示すことで聖なる者となるのです。(喜びに喜べ)

「教皇フランシスコ」への献金願い
 目的: すべてのいのちを守るため
 献金法: 振込み用紙のみ(教会受付前)

杉原 寛信 神父

毎週木曜日

10:00 キリスト教入門

14:00 聖書の分ち合い

19:00 キリスト教入門

結婚講座

* 1月18日～2月15日までの

毎土曜日 19:00～21:30

参加費: カップルで1万円

(カップルでの参加が原則)

問合せ先: 092-741/3687 (大名町教会)

◇キリスト教講座Ⅱ期が始まります。

・1月10日(金): 10時から15週

・水曜コース: 休講します。

*キリストの光に気づくために!

*どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟: 1月11日(土)・25日(土)・2月8日(土)・22日(土) 10時から 小聖堂/日曜日 8時45分

感謝・星・貧しさの真剣さ

新年 明けましておめでとうございます。昨年、信徒の一人お一人から、様々な形で助けられ、豊かなものをいただきました。心からお礼申し上げます。

2020年も、神の呼びかけに対し、前向きに、出し惜しみなく懸命に取り組んでゆく覚悟を新たにしたいと思います。

3人の博士が星に導かれてベツレヘムの馬小屋に辿り着き、幼子イエスに出会い、贈り物を差し出します。

私たちにも導いてくれる星があります。人が本物の幸せに至るためには、導く星が不可欠です。「星」、それは私たちの「良心」と言えます。星が天に輝くように、良心は人の心の天に輝きます。3人の博士は、それぞれの場所で星を見ました。

私たちの「良心」という星も、それぞれに輝き、見えます。

2020年、「大名町教会」の一人お一人が、大切な星の導きのもと進んで行かれますように。

ドイツ文学者の《池内紀》さんが、子ども時代をこう語っておられます。「貧乏だとあらゆることに真剣なんです。」と。

救い主の誕生は、究極の貧しさの中で救った。貧しくお生まれになった救い主は、救いの使命を真剣に歩まれます。

主よ、私たちにも貧しさの中に出向き、真剣に歩ませてください。

大名町カトリック教会

主任司祭 杉原 寛信 神父

11月25日(月)“教皇と青年の集い”に参加してきました。



「教皇と青年の集い」に参加してきました。

当日は約900名もの青年が集まり「Papa Francisco」と手拍子をはさみながら、まるでサッカーの応援のようなコールが巻き起こり、パパ様にお会いできる喜びとエネルギーが溢れる空気に包まれました。

「誰と人生を共有するか」、パパ様のお話を聞いていて最も印象に残った言葉です。「何のために生きていくのか、何を手にできるか」、お金であったり地位であったり生きる上できつと誰もが考えたことがあるはずですが、しかし、パパ様は、それはそれほど大切ではないとおっしゃいました。この時、私の中にあつた

心のつかえがスッと取れたような気がしました。何か表面的なものを求めて必死に働きたい社会で頑張るのではなく、それ以上に誰と共有するかの方がもっと大切なのだと思付かされたのです。集いの中で3人の代表者が、それぞれ立場から、いま日本の青年たちが日々悩んでいることや社会の現状について、パパ様に助言を求めました。どの話にも「いのちを分かち合う」という点は共通していたように思い、先ほどの気づきを深めることができました。例えば、いじめに関してはいじめめる側こそ本心に弱虫であり、自分との違いを脅威だと思うのではなく他者のために時間を割き、耳を傾け、共感し、理解することが大切であるということ。次に高度に発展している社会であっても、孤独に生きている人が多いのは他者との人生を喜べないからであり、他の人といのちを祝う力を保ち続けるならば豊かになると語られました。さらに自分の良さや勇氣に気づくには鏡を見るのではなく、他の人の助けが必要だということ。ただ鏡を見ても仕方がなく「魂のセルフィーはまだ発明されていないから誰かによって写真を撮ってもらわないといけません」と冗談を交えながら自分の中に籠らず他の人、特に困窮する人のもとへ出向

くことの大切さを語られました。「神はあなたに、他者のためにも存在して欲しいと望んでおられます」と。

がむしゃらに目の前のやるべきことに追われて生きるのではなく、家族、友人、支えてくださる周りの方々、これから出会う人々、そして神様に時間を割き、人生を共有することを常に忘れずにこれから生きていこうと思えます。

クララ 平田 梨沙

主よ、私たちが平和の道具としてお使いください

2019年10月19日から12月3日まで開催した『教皇来日記念企画展』の中で絵画展「アツシジの聖フランシスコと聖クラ



ラの道」を開催したお一人から。

昨年のローマ教皇来日記念企画展では、大名町教会の皆様にご助力をいただき、誠に有難うございます。ひとりでは始まった歩みが10年を経て、ふたりの歩みとなり、20年が経ちました。その歩みの跡である作品展を通して、私たち自身にとっても貴重な振り返りの機会をいただきました。今から800年前の、バラ色の町アジジで生まれたふたりの聖人、聖フランシスコと聖クララが自ら悔い改め、貧しい人にキリストの姿を認めて、その見捨てられた人々の中に入り、彼らと共に生きながら主を告げ知らせ、小さな町アジジから愛と平和の福音が世界へと広がったことを、今改めて想います。

また、来日されたフランシスコ教皇の力強いメッセージも、愛と平和のみ国を告げ知らせる者となるように、世界へ向けて語られました。私たちふたりもまた、新たに神のみ旨にかなうように祈りながら、力強く歩みを進めて行きたいと願っております。ふたりは今春、アジジへスケッチ取材に行きます。

『主よ、私たちが平和の道具としてお使いください』
森田貴博&平井栄美

カテドラル大名町教会の2019年の待降節



幼子イエス様をお迎えして、感謝のミサが始まりました。このミサに12000人が参加しました。

道行く方々が足を止めて「毎年楽しみです」と言う方も



今日はクリスマス。天神の街にイエス様のご誕生をお知らせ



聖歌の練習も、すす払いも、もうすぐクリスマス。それぞれのタレントで賛美します。



克蘭ツのローソクの光が1本づつ増えてイエス様のお誕生が近づいて来る



預言者のことば【その名は「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君と唱えられる。」(イサヤ9:5)】



なかなか手が届かない高所もきれいに。



12月15日(日)、5人の方々の入信式
2020年4月11日の復活徹夜祭に受洗の予定です。



教会学校のクリスマス会 イエスさまありがとう!



皆さんクリスマス会に来てください

小さき花の会

「聖書通読会」

- ・1月19日(日) 9時半ミサ後、信徒会館応接室(予定)
- ・通読箇所…レビ記9章から
- 「ミサ奉仕」
- ・第2週目 ロザリオ先唱、奉納。
- ・第3週目 奉納

*2020年も、ミサ奉仕のご協力をよろしくお願いいたします。

大名町教会11月の現勢

【転入】 (〓教会から)

・マリア 生田由美子

・ドミニコ 生田 侑真

・マリア (長崎教区大曾教会)

・マリア 石本 洋子

(長崎教区三浦町教会)

【転出】 (〓教会へ)

・マリア 林 征子/ルカ アネ

・マリア 林 留花 アネット (吉塚教会)

【帰天】

・11月25日

マリア 辻 美恵子

・12月4日

マリア 平石 慈子

・12月9日

マリア 黒瀬 ヒサエ

教会委員会

12月8日委員会

検討事項

- 11月24日、フランシスコ教皇訪日の振り返り
- 教皇ミサ、また、またパブリックビューイングの参加者に感想をハガキ一枚に依頼し、分かち合うことにした。英語ミサの信徒にもお願いする。教皇ミサ、バス収支報告。詳細は掲示板に掲載しています。
- パブリックビューイングへの参加者700名あり。教皇訪日の振り返りのため年始めに大型スクリーンにて放映検討、詳細決定次第告知。
- クリスマスについて
- 夜半のミサで使用するパンフレットを100部外注印刷。費用2万5千円。
- クリスマス当日の役割分担の確認、信徒への協力お願い。献金箱4か所設置。
- クリスマス飾りつけの片付けは、1月12日(主の公現)に行う。
- クリスマス特別献金について
- クリスマス特別献金封筒の準備。今年の献金は『教皇フランシスコ』への献金として中央協議会へ送金。金額は後日検討。
- 成人の祝福式について
- 1月12日(日)実施。対象者15名への案内状送付。普段着での出席の働きかけ、また行事部を中心としてお祝いと新年会を計画する。
- 堅信式について
- 2月2日(日)実施。
- 子ども6人のほか、大人、英語ミサ

- の子ども対象。
- 6 駐車場許可制導入について
- 大名町信徒のみ試行的に導入。申し込み者名簿を基に、随時駐車状況を確認する手順にて運用していく。
- 7 教会規約の改正について
- 青年会、教会学校、小さき花の会、ヨゼフ会を委員会の委員としてはどうかの提案あり。小さき花の会については、女性による話し合いの場を設け検討する。
- 現職員に対する定年、雇用期間も検討、本的に雇用期間70歳とする。なお現雇用者へは2年程度の経過措置を設ける。
- 8 教会委員会の改選について
- 委員会委員の改選のため候補者推薦委員会を設置し、久志さんを委員長として8名の信徒にお願いし、前回同様選考を行う。
- 9 街頭募金活動の振り返り
- 12月1日実施。献金箱の装飾、アイデアなど工夫が凝らされ、例年より子どもたちの声出しも良かった。募金額は15万、(教会10万、街頭5万)、カリタス南相馬へ若狭さんより直接届ける。
- その他
- 1 青年会
- 11月25日(月)例会。降誕祭役割分担、第5週のミサ曲選定など話し合う。
- 24年ぶりの全国青年大会が2020年5月に静岡にて行われる。援助など検討する。
- 2 教会学校
- 11月30日(土)堅信組黙想会、長崎お

- 告げのマリア訪問、有意義な黙想会となった。
- 3 営繕部
- LED第2期工事終了。
- 空調メンテナンス会社、菱熱(株)会社より大成温調(株)に変更した。消化水槽点検、破損箇所あり、次年度工事予定、大聖堂ドレンより水漏れ発生、またゴムホース交換を次年度に予定。教区に予算書を提出していく。
- 4 その他
- 教皇訪日特別企画展にてご協力いただいた山鹿教会信徒で、制作者の森田貴博様より『アツシジの聖フランチェスコ コーラ・ヴェルナの告別』の絵画の寄贈あり。講堂奥に展示することとした。

会長のつぶやき

ふりかえりとお願い

♪神のそそがれる目は、神をおそれるものに、神の愛に希望をおくものうえに♪

旧年中は教会共同体にさまざまなところでご理解、ご協力いただきありがとうございました。激動の1年であったこと、失うものの大きさ、そして得るものの大きさを感じた一年、同時に私にとっては逃げ出したくなる重い1年でした。それは司教座を支えることの出来なかった小教区の役員であることでした。昨年の個人の目標は、個人的に漢字1字『学』でした。苦しく現実から逃げ出そうと数か月の思いの中、この年の最後に、主の降誕を心から喜べる素晴ら

しい数日を送ることができました。教会共同体は、会社や様々な団体、公共機関の組織と異なり、上下関係も、優劣も、国籍も、能力の差異も性別もそして健全者も障害者も年齢も問題としないということ。人間として、あう、あわない、好き嫌いはあっても、利害関係や上下の関係はないということ。しかし私たちは時として、自己中心、怒りや妬み、中傷、偽善、不信などの罪を犯します。また受け入れたくないこともあるでしょう。そして私たちには司祭をとおして、赦して下さる神がいつもおられることを信じています。

司祭は、マリア様のように謙遜で柔和で、聖マザーテレサのように私をお使いくださいと差し出すように招かれているということへと、私たちを導いてください。

因みに、私は、今年には老化する体、退化する脳、神様からいただいたこの体のためにこの1年、『歩』と『覚』を目標にしたいと思います。

そして今年には役員改選の年、皆様のそれぞれの能力を、私でよければお使いくださいと差し出してください。この教会には侍者会の子どもたちのように、毎日曜日奉仕してくれる国籍の異なる子どもたち、そして教会共同体のために心身共に捧げてくださる老いたる方がたくさんおられます。次世代の教会を皆さんで創造し、歩んでいきましょう。

大名町教会信徒会長
濱崎 公夫